



今年も残すところ1カ月を切りました。皆さん体調管理は大丈夫ですか？空気が乾燥してきて、インフルエンザを含む様々な病にかかりやすい時期ですから、うがい・手洗いを徹底して行いましょう。早寝・早起き・朝ご飯などのしっかりとした生活リズムをおくることも予防の1つです。先生達も気をつけますので、皆で良い年末を迎えることが出来るようにしましょう。

さて、期末テストが終わり、最近の学校生活はどうでしょうか？胸に手を当て考えてみましょう。一年の3分の2を過ごして様々な反省があったと思います。テスト・部活・友人関係....etc いろんな失敗をして人間は成長していくものです。反省するところはしっかり反省して、2014年に向けて気持ちを新たに頑張りましょう！！

始業式に、旅行や遠くへ遊びに出かけたなどの年末年始の楽しい土産話をみんなが笑顔でしてくれるのを楽しみに待っています。

冬休み

12 / 21 ~ 1 / 6

待ち遠しい冬休みですが、終業式の日まで気を抜かず生活しましょう (^o^)

冬休みというのは、イベントが多いですね！クリスマス・お正月・お年玉・・・一年で一番みんながお金持ちになる時期だと思います。みんなは、お年玉をもらって気持ちも高まることと思いますが、お金の管理を気をつけて下さい。お年玉を狙った犯罪や事件が今の世の中では多発しています。お金の使い方も計画的に。

< 報告 >

遅くなりましたが、8月21~28日間の8日間、鎌ヶ谷市の姉妹都市であるニュージーランドのワカタネへ訪問し、友好を深める国際交流活動に、市の代表として1-5組の 永徳あゆ美さんが参加しました。他国の文化に触れ様々な経験をした永徳さんはその成果を先日の全校集会で立派に報告してくれました。

11月22日に「スケアードストレイト事業」が行われました。これは、本物のスタントマンによる交通事故の現場を再現することで、生徒に正しい恐怖感を持ってもらうものです。実際に人が車にひかれた光景を目の当たりにして生徒達は、事故の衝撃や悲惨さなどを考えることが出来たと思います。三中は、生徒の7割以上が自転車通学です。例年何人も生徒が出合い頭に車輛と接触するなどの事故が起きています。今回の事業をきっかけに日々の危険な運転を改め、ライトやヘルメットの意味を再確認しました。正しい運転をこれからは意識していきましょう。

12月8日に行われた「第24回鎌ヶ谷市 ジュニアサッカー大会」において、我が校サッカー部が見事トーナメント戦を勝ち抜き、優勝をいたしました。サッカー部のみなさんおめでとうございました。当日、助っ人として活躍してくれた

1-1 三木大空翔くん 1-2 小澤雄仁くん
1-2 澄川健之助くん 1-5 加藤慎也くん お疲れ様でした。



12/2~1月下旬までの二ヶ月間鎌ヶ谷第三中学校では体力向上を目指して男子生徒のみ放課後の部活終了時刻からだいたい30分を目安に

「冬季トレーニング」

を行っています。内容は、1周200mのトラックをスピードや体力に応じて、55秒~70秒の中で25周を目安に走っています。継続して行うことで、必ず体力は向上し、健康かつ病気をしにくい強く丈夫な体になるでしょう。寒さにも慣れ、走力も上がるきっかけになる行事なので、運動部の生徒はレギュラーの近道になるかも！！



働く人に学ぶ会

11月20日(水)に「働く人に学ぶ会」が行われました。生徒達が講師の先生方の話を楽しそうに聞いていたのが印象的でした。卒業してからの社会を身近に感じ始めているみんなが「働く」ということの意味・大切さなどを理解し、自分の明るい未来のために少なからず考えることができた、とてもいい機会であったと思います。

働く上で大切なことを講師の皆さん全員が話して下さった中で、代表して弁護士の佐藤 鋼造さんの講演内容の一文を載せておきます。

「今の若い人たち人達に一番伝えたいこと」

私が弁護士になった40年前と、今とでは弁護士の仕事も大分変わりました。何と云っても大きな違いは、インターネットやメールが発達したことです。これにより裁判所の事務や弁護士の業務が大変早く進められスムーズになりました。このことは本当に素晴らしい事です。

でも裁判は業務が便利になったと云うことでは決して進められることは出来ません。何故でしょうか。それは、裁判は生身の人間を扱うからなのです。私達人間は愛したり・憎んだり・喜んだり・悲しんだりとても複雑なものです。その人間を、機械が発達したからといって裁くことは出来ないのです。私は刑事裁判で被告人になった人、又、少年事件で審判を受ける少年と、数多く接してきました。その人達の語る言葉を聞いているうちに、段々その人が犯した犯罪の原因が次第に見えてくるのです。その人達の話す言葉を耳で聞き、目で見つめて、その人達を理解することが大切なのです。

さて、今の話は弁護士だけの話と思っではいけません。皆さんはそろそろ携帯電話やスマホを持って情報を集めたり、友達といろいろなサイトを使って、私達高齢の人が驚いてしまう情報を複雑に扱うことが出来るんですね。凄いことだと思います。高度な技術を生かした人間は本当に素晴らしいですね。皆さんは是非その技術を自分のものにして、社会に役立てて下さい。

でも皆さん、スマホだけで本当の友人関係を作ることが出来るでしょうか。私はそれだけでは決して出来ないと思います。私達は血の通った人間として友を持ちたいのです。友達はとても大切に、私には若い時から常に信頼してきた心の友が沢山います。その友と、楽しい時も苦しい時もお互いに語り合ったのです。その時の友の表情、言葉の一つ一つが私の心に刻まれているのです。スマホやフェイスブックでは出来ません。

友人と語り合う機会を多く持って下さい。その中で、それぞれの人が自分と同じように幸福になりたいと願っていることが判るのです。そして、その中でお互いが愛し合うことが出来るようになるのです。人をいづめる心が次第に消えてくるはずですよ。

人類が生み出した文明であるインターネットやメールを社会のために役立てて下さい。友達をいづめる道具に使っではいけません。人間として恥ずかしいことです。

佐藤 鋼造より